

令和4年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応含む
戸塚	1	地域ケアプラザにおける業務のオンライン対応に向けた環境整備	地域ケアプラザにおいて、介護相談等の福祉保健に関する相談をオンラインで対応するための機材の確保及び運用マニュアルの整備	健康福祉局	○
戸塚	2	戸塚駅周辺に係る交通混雑緩和及び土地利用誘導に向けた取組	1 西口 ・一般車等乗降場の追加確保に向けた設計調査等	道路局	○
			2 東口 ・周辺道路の駐停車対策に向けた対策案の詳細検討と社会実験等の実施 ・近接工業集積地域の土地利用誘導に向けた検討	都市整備局	○
戸塚	3	北海道下川町と市立戸塚高校の連携によるSDGs・環境教育の推進	市立戸塚高校、戸塚区及び北海道下川町の行政・企業、ヨコハマSDGsデザインセンターが連携し、戸塚高校で環境教育を実施	温暖化対策統括本部	○
戸塚	4	寄り添い型生活支援事業における車両等送迎の強化	寄り添い型生活支援施設と児童の自宅等の間を車両等で送迎	こども青少年局	○
戸塚	5	戸塚駅東口駅前広場の利便性向上及びバリアフリー対策	戸塚区バリアフリー基本構想に基づき、東口に地下鉄改札階からJR線橋上改札階までを直通するエレベーターの整備に向けた検討	道路局	○
戸塚	6	誰もが利用しやすい公衆トイレに向けた改修	戸塚駅東口の公衆トイレのバリアフリー化に向けた全面改修	資源循環局	○
戸塚	7	東戸塚駅の混雑緩和	1 ホームドアの早期設置に向けた要望 2 ラッシュ時における上り列車の更なる増発に向けた要望	都市整備局	○
戸塚	8	県道瀬谷柏尾の都市計画決定の推進及び横浜新道上矢部IC下り出口の整備	1 県道瀬谷柏尾の都市計画決定推進 2 県道瀬谷柏尾の追加候補路線を不動坂交差点まで延伸 3 上矢部IC下り出口の整備検討	道路局	○

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	健康福祉局	戸塚区		福祉保健課		
		担当者名	宮内	TEL	866-8424	
		共通区	4区(西区、港南区、金沢区、瀬谷区)			
		継続年数	新規			
提案種別		予算・制度関連				
番号	項目					
1	地域ケアプラザにおける業務のオンライン対応に向けた環境整備					
◇地域の課題、基礎データ等						
<p>1 新型コロナウイルス感染症を取り巻く社会情勢を背景に、地域ケアプラザでの相談対応や各種講座、会議等の実施が困難になる場合があります。</p> <p>2 地域ケアプラザにおいてICTを活用し、コロナ禍、コロナ後の新しい生活様式に対応した取組を推進するためには、オンラインによる業務展開に必要な機材の確保及びセキュリティの基準等を定めた運用ルールの整備が不可欠です。</p> <p>3 上記の環境整備を実施することで、福祉保健に関する総合的な相談対応や、高齢者に関する相談対応及び継続的・専門的な相談支援、地域住民向けの講座等を地域ケアプラザが主体的に実施することが可能となります。</p> <p>4 市民が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めるために、感染症まん延等の有事の際にも施設機能を維持する仕組みをつくる必要があります。</p>						
◇地域ニーズ等の収集手段						
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他(区内地域ケアプラザからの提案)						
◇区民からの具体的な要望						
令和2年度中に、施設利用者からオンラインでの相談ができないかとの相談が寄せられています。						
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。						
令和2年第3回市会定例会において補正予算により事業化した「地域ケアプラザ等のICT環境整備事業」として、区内地域ケアプラザ11館に対してWi-Fi環境の整備を要請し、整備に向けた相談対応や健康福祉局との調整を行いました。また、整備したWi-Fiを活用した事業の企画・実施に向けた支援を行いました。						
◇提案内容・概算額等						
<p>「オンライン相談の実施に係る機材の確保及びビデオ会議システムの運用マニュアル作成」</p> <p>1 オンライン相談の実施にあたり必要となるビデオ会議システムの使用料やパソコン等の購入費は、指定管理料として施設へ配付することとし、健康福祉局が負担します。ビデオ会議システムの使用料については、令和5年度以降も予算措置をします。【健康福祉局地域支援課】 ビデオ会議システム年間使用料 600千円、機材購入費 3,300千円</p> <p>2 オンライン相談を安全かつ円滑に実施するため、ビデオ会議システムを使用する際の運用ルール(セキュリティの基準や操作手順など)を定めたマニュアル等を作成します。【健康福祉局地域支援課】</p> <p>3 区は広報よこはま等によりオンライン相談が可能なことを市民へ周知し、利用を促進します。</p>						
◇参考：区執行体制上の課題						
現行の体制で対応						
◇所管局						
所管局課	健康福祉局地域支援課					

◆局回答内容

健康福祉局		地域支援課	
担当者名	阪柳、末野、東	TEL	671-2388

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 令和2年度に整備したWi-Fiのさらなる利活用の推進に向け、マニュアル等を作成します。また、提案区及び共通区の地域ケアプラザにおいて、オンライン相談をモデル実施するため、指定管理料を通じたパソコン等の機材購入費の配付を念頭に、効果的な予算措置について検討します。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局、都市整備局	戸塚区		区政推進課		
		担当者名	奥住、宮原	TEL	866-8326	
		共通区				
		継続年数	2年			

提案種別	予算・制度関連
------	---------

番号	項目
----	----

2	戸塚駅周辺に係る交通混雑緩和及び土地利用誘導に向けた取組
---	------------------------------

◇地域の課題、基礎データ等

戸塚駅は広い駅勢圏を有し、市内第2位の乗降員数を有するターミナル駅となっています。そのことで起因する駅周辺エリアの交通混雑等に対しては、戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン（以下、まちみちプランという。）を策定し、関係局と連携して改善に向けた取組みを展開しています。

当該まちみちプラン推進の一環として、令和元年度、戸塚駅西口において交通混雑の緩和に向けた社会実験を、区が主体となって実施しました。その結果、交通混雑緩和を実現するためには、戸塚駅前線に駐停車禁止の交通規制をかけることとして方針を固めました。それには一般車等の乗降場所の追加確保が必須となります。東口においても路線バス発着場の再編再配置、一般車の駐停車対策が急務となっており、また、近接した工業集積地域周辺の自動車・歩行者交通に大きな課題があり、工業集積地域の土地利用誘導と連携した交通対策の推進が必要です。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン策定時のアンケート）

◇区民からの具体的な要望

- 【西口】・戸塚駅前線等における一般車駐停車に伴う混雑の緩和及び交通安全対策
- ・第2交通広場の円滑な運用等、一般車乗降場の確保検討
- 【東口】・舞岡戸塚線における一般車駐停車に伴う混雑の緩和及び交通安全対策
- ・工業集積地域周辺の歩行者対策

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

平成25年度から関係各局と調整を進め、平成31年2月、まちみちプランの策定につなげることができました。並行して、区が実施主体となって西口交通量調査(H30年度)、社会実験の実施(R元年度)、社会実験効果検証・東口交通量調査(R2年度)、東口対策案検討(R3年度)を進め、具体的な実施案については道路局において検討着手しています。一方で、急務である一般車等乗降場所の追加確保等のためには、予算措置等のさらなる区局の連携強化が必要となっています。

◇提案内容・概算額等

- 【西口】・令和3年度関係機関調整結果に基づく一般車等乗降場の追加確保に向けた設計調査、用地取得費等（220,000千円）
- 【東口】・令和3年度交通対策検討調査に基づく混雑緩和施策の社会実験及び地元調整、実施方針案検討（ 千円）
- ・近隣工業集積地域の土地利用誘導と連携した交通対策検討及び土地利用誘導に向けた庁内体制構築（ 千円）

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	(西口) 道路局企画課、維持課 (東口) 道路局企画課、都市整備局地域まちづくり課
------	---

◆局回答内容

道路局		企画課、維持課	
担当者名	青木（維持課） 松丸（企画課）	TEL	671-2782（維持課） 671-4086（企画課）

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	【西口】 西口駅前の交通混雑改善に向けて第2バスセンター改良等について関係局と連携して取り組みます。第2バスセンター拡張に必要な調査設計及び用地取得の予算計上します。 【東口】 東口駅前の交通混雑緩和に向けて交通社会実験等について区と連携して取り組みます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

都市整備局		地域まちづくり課	
担当者名	西田、杉本	TEL	671-2939

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	対象エリアへの機能誘導に伴う交通量の変化に応じた対策を踏まえた土地利用検討及び庁内体制構築について対応します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名 温暖化対策統括本部		戸塚区		区政推進課	
		担当者名 石川	TEL	866-8327	
		共通区			
		継続年数		新規	
提案種別					
制度関連					
番号	項目				
3	北海道下川町と市立戸塚高校の連携によるSDGs・環境教育の推進				
◇地域の課題、基礎データ等					
<p>平成27年の国連サミットにおいて、17のゴール、169のターゲットで構成され、令和12年を年限とした国際目標（SDGs）が採択されました。横浜市は、平成20年に環境の先進的な取組を進める「環境モデル都市」に、平成23年には環境や超高齢化といった世界共通課題に先進的に取り組む「環境未来都市」に選定され、平成30年にはこれまで進めてきた先進的なまちづくりを更に進め、世界が合意した「持続可能な開発目標『SDGs』」の達成に貢献するため、「SDGs未来都市」に選定されました。</p> <p>横浜市の歩みと連動する形で、戸塚区では、これまで、SDGsへの理解を深めることを目的として、授業に活用できる企業・大学の出張授業等を紹介する学習プログラムガイドを作成し、区内の小・中学校の教員へ配付するとともに、SDGsパネル展において、企業・大学のSDGsの取組を周知してきました。</p> <p>さらに、環境パネル展、環境問題講演会を実施することで、環境の視点から、SDGsの普及啓発に取り組んできました。</p> <p>また、戸塚区川上地区、北海道下川町、戸塚区の三者は平成23年8月に友好交流協定を締結しており、戸塚ふれあい区民まつりへの参加や子ども達の相互交流など、様々な取組を実施しています。</p> <p>令和12年のSDGsの達成に向けては、市民・事業者等、あらゆる主体が世界を取り巻く危機意識を共有し、オール横浜での連携を進めていく必要があり、今後、さらにSDGsへの理解や脱炭素社会の形成に関する学習の促進及び知識向上への継続した普及啓発が必要です。</p>					
◇地域ニーズ等の収集手段					
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（ ）					
◇区民からの具体的な要望					
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、環境イベント等の集客方式が変わる、新たな生活様式での普及啓発の実施。 ・戸塚高校における「総合的な探究の時間」におけるSDGs学習の支援を契機とした脱炭素社会の推進。 ・下川町との友好交流協定の認知度向上や連携した取組を推進することによりSDGs未来都市・横浜の実現。 					
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。					
<p>令和3年度、区の運営方針においても、重要な4つの視点の一つとして、「環境：地球温暖化対策など環境保全に寄与する取組」を位置づけ、環境エコライフ事業をはじめとする様々な事業において、環境問題講演会や環境・SDGsパネル展の開催、小・中学校向けに環境分野の出張授業や施設見学会を行う学習プログラムガイドの作成など、区民に幅広く環境やSDGsの取組の普及啓発を行っています。</p>					
◇提案内容・概算額等					
<p>戸塚区と友好交流協定を締結しているSDGs未来都市の北海道下川町と区内の戸塚高校が連携して、SDGsや脱炭素社会の推進に取り組む企業が参画するなど、産官学が連携したモデルプロジェクトを実施します。</p> <p>戸塚高校へのSDGs年次計画等、学習支援を実施することで、これまでの取組と併せて、小学生から高校生までの切れ目のないSDGsの普及啓発を実施し、次世代を担う若年層への学習促進や知識向上の啓発により、区民全体への行動変容を促し、目標達成に向けた取組の推進に寄与します。</p> <p>温暖化対策統括本部・ヨコハマSDGsデザインセンターに対して、市内企業のコーディネーターや下川町の企業とのマッチング、メディア戦略など、プロモーションなどの協力支援体制の充実を求め、区内外へ活動の広がりを創出します。</p> <p>令和3年度は下川町との友好交流協定に基づき、下川町の企業にも無償での協力を依頼していますが、今後も継続した学習支援を実施するためには、下川町の企業や市内企業へ謝金等の支払いも必要となってきます。</p> <p>また、高校3年間の継続した学習支援のためには、各年度の取組内容を報告書としてまとめ、生徒へ配布する必要があります。そのため、作成費用を要望します。</p> <p>1 協力企業への謝金 480千円（16社×10千円×3回） 2 報告書作成費用 520千円 3 普及啓発費用 2,000千円</p>					
◇参考：区執行体制上の課題					
現行の体制で対応					
◇所管局					
所管局課	温暖化対策統括本部SDGs未来都市推進課				

◆局回答内容

温暖化対策統括本部		SDGs未来都市推進課	
担当者名 国井	TEL	671-4371	

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	様々な主体との連携による脱炭素化を含むSDGs達成に向けた取組の推進に向け、これまでSDGs未来都市実現に向け取り組んできた施策のノウハウ等を活用いただくことが可能と考えるため、現行のデザインセンター事業の中で対応します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	こども青少年局	戸塚区		こども家庭支援課	
		担当者名	早川	TEL	866-8468
		共通区	15区(神奈川区、西区、中区、南区、港南区、保土ヶ谷区、旭区、磯子区、港北区、緑区、青葉区、都筑区、栄区、泉区、瀬谷区)		
		継続年数	新規		
提案種別					
予算関連					
番号	項目				
4	寄り添い型生活支援事業における車両等送迎の強化				
◇地域の課題、基礎データ等					
<p>寄り添い型生活支援事業は、養育環境に課題のある小・中学生が家庭的な雰囲気有する施設に通い、規則正しい生活習慣や基本的な学習習慣を身に付けることを目的としています。</p> <p>当区では令和2年3月に実施施設を北部エリアに開設しましたが、支援を必要とする全区域の子どもたちに広く利用してもらうには、車両による送迎が必要との判断に至りました。</p> <p>特に遠方に居住する児童や、保護者が送迎できない要支援家庭の児童の利用を促進し、また小学校低学年の児童や障害児等の通所時(特に帰路)の安全を確保するには車両による送迎が非常に有効です。また徒歩や公共交通機関よりも効率的に移動することができるため、児童の支援に充てる時間を十分確保することも可能になります。</p> <p>このため当区では、令和2年12月から「個性ある区づくり推進費」の活用により車両送迎を実施しています。</p> <p>現在、施設に通う児童12人中9人が車両送迎を利用しているほか、今後更に5人の児童について利用を前提に通所調整を行う予定であり、事業を安全かつ効率的に実施する上で車両送迎は不可欠のツールとなっています。</p> <p>なお現時点では車両送迎のニーズがそれほど多くない区にあっても、児童の通所時の安全を確保し、小学校低学年や要支援家庭児童の利用を促進する上で、職員の付添い等による送迎支援の強化が必要です。</p> <p>以上のことから、今後十分な体制の下で長期間安定的に事業の運営が行えるよう、車両等導入による送迎強化について局予算化を提案します。</p>					
◇地域ニーズ等の収集手段					
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他()					
◇区民からの具体的な要望					
<p>車両送迎の実施に関しては、徒歩通所可能エリア外にある学校等の関係機関や、事業対象となる家庭の保護者(疾病等のため児童の通所に付き添えない等)から強い要望が出ています。</p>					
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。					
<p>当区では令和2年度から引き続き区政運営方針において、子ども・子育て支援策の柱として、養育環境や生活困窮等により支援を必要とする児童に対し、学習支援や居場所の提供等の支援を行うこととしています。</p>					
◇提案内容・概算額等					
<p>[提案内容]</p> <p>寄り添い型生活支援事業における車両等送迎の実施(局による予算化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸塚区内2か所(既実施施設及び令和3年度新設施設)で実施します。 ・車両の維持管理に係る経費のほか、送迎体制強化のための費用(アルバイト等の人件費)を含みます。 ・車両を使用しない場合の職員送迎による人件費と公共交通機関の料金(職員) <p>[概算額]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両の場合: 〇〇千円 ・公共交通機関等※の場合: 〇〇千円 <p>※公共交通機関等の使用は、運転手が確保できない場合や車両送迎では利便性が悪い場合等に実施できるものとします。</p>					
◇参考: 区執行体制上の課題					
現行の体制で対応					
◇所管局					
所管局課	こども青少年局青少年育成課				

◆局回答内容

こども青少年局		青少年育成課	
担当者名	富田、涌井	TEL	671-2324

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	送迎手段については、車両リースか公共交通機関等として賛同区に必要な状況を確認し、予算計上します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局
------	-----

戸塚区		区政推進課・土木事務所	
担当者名	奥住、遠藤	TEL	866-8326・881-1621
共通区			

継続年数	2年
------	----

提案種別	
予算関連	

番号	項目
5	戸塚駅東口駅前広場の利便性向上及びバリアフリー対策

◇地域の課題、基礎データ等

戸塚駅東口駅前広場はエレベーターが複数機整備されていますが、地下鉄及びJR（地下・ペDESTロリアンデッキ階）改札階、バス・タクシー乗り場（地上階）、駅前広場周辺の再開発ビル（戸塚モディ等）間の移動は複数のエレベーターの乗り継ぎが必要となっており、障害者・高齢者等誰もが日常生活やまちの中の行動において、できる限り同じような活動を保障するために、各階間を接続するエレベーターの改善が必要な状況です。
また、エレベーターの混雑のため乗員の積み残しが発生することから、エレベーターの基数を増やす等の対策により利便性の向上が必要です。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（議員団会議、戸塚区バリアフリー基本構想まちあるき点検ワークショップ・バリアフリー情報）

◇区民からの具体的な要望

- ・地上から地下鉄改札階までエレベーターを乗継ぐ必要がありとても不便。
- ・バス降車バースの交通島にエレベーターが無い。
- ・地下鉄改札階から地上までを結ぶエレベーターにJR地下改札階から乗ろうとしても、混雑のため乗れないことが多い。
- ・地下鉄改札階及びJR地下改札階とラピス1（戸塚モディ）地下1階との接続部分のバリアフリー化が図られていない。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

平成30年に策定された戸塚区バリアフリー基本構想では、「移動円滑化経路の確保方法の検討」が道路局が実施する道路特定事業として位置づけられています。

◇提案内容・概算額等

駅前広場のバリアフリー対策や利便性向上を図るため、戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプランに位置づけられた、駅前広場全体のバス・タクシー等の乗降場所全体の早期再編成を進めるとともに、戸塚区バリアフリー基本構想に基づき、道路特定事業として位置づけられた移動円滑化経路の確保方法の検討を進め、地下鉄ブルーラインの改札階からJR東海道線橋上駅舎改札階（ペDESTロリアンデッキ階）間、及び駅前広場周辺の再開発ビルを直通で（1機で）接続するエレベーターの整備に向け早期の検討着手が必要です。（参考：概算事業費：約100,000千円）

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

所管局	道路局企画課、施設課
-----	------------

◆局回答内容

道路局		企画課・施設課	
担当者名	松丸、長谷川(企画課) 松田(施設課)	TEL	671-4086(企画課) 671-2731(施設課)

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	プランに位置つけた取組の推進のため既存事業の中で予算計上します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	資源循環局
------	-------

戸塚区		区政推進課	
担当者名	奥住、鳥羽野	TEL	866-8326
共通区			

継続年数	4年
------	----

提案種別	
予算関連	

番号	項目
----	----

6	誰もが利用しやすい公衆トイレに向けた改修
---	----------------------

◇地域の課題、基礎データ等

戸塚駅東口の公衆トイレについては、和式トイレがあったり、個室内に段差があり、バリアフリー化ができていません。戸塚駅の令和元年度の1日の平均乗降客数は、JR線225千人、市営地下鉄88千人と市内では横浜駅に次いで多く、高齢者、障害者だけでなく、多様な利用者のニーズに対応した整備が求められています。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（戸塚区バリアフリー基本構想策定に向けたまち歩き点検）

◇区民からの具体的な要望

- ・個室トイレが和式のみで使いづらい。
- ・トイレ内に段差がある。
- ・ベビーベッドがない。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。

・戸塚区バリアフリー基本構想策定に向けた横浜市バリアフリー戸塚区部会の開催

◇提案内容・概算額等

利用客が最も多い戸塚駅東口公衆トイレのバリアフリー化に向けた設計及び工事 約40,000千円

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	資源循環局街の美化推進課
------	--------------

◆局回答内容

資源循環局		街の美化推進課	
担当者名	望月、今永	TEL	671-2555

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 令和4年度予算に計上し、全面バリアフリー化に向け、改修に関わる設計及び工事を実施します。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局	戸塚区		区政推進課	
		担当者名	奥住、宮原	TEL	866-8326
		共通区			
		継続年数		7年以上	
提案種別					
制度関連					
番号	項目				
7	東戸塚駅の混雑緩和				
◇地域の課題、基礎データ等					
<ul style="list-style-type: none"> ・区民から東戸塚駅の通通勤ラッシュ時の線路転落・転倒危険性について指摘されており、周辺の地区懇談会では、毎年議題となっています。 ・東戸塚駅の周辺は、宅地開発や大規模マンションの建設などのまちづくりが進んでいます。また、バス便により近隣区の住民も東戸塚駅を利用している状況であり、昭和55年に開業して以来、乗車人員が約7.7倍にまで増加しています。 ・地元の町内会長等が呼びかけ人となり、東戸塚駅の改善を求める署名活動を行いました。(H21年度) ・JR東日本は、概ね15年程度(R14年度末頃まで)で、乗降10万人以上(乗車5万人以上)の駅等を中心に東京圏在来線の主要路線全駅にホームドアを整備することとしています。しかしながら、東戸塚駅は令和7年度以降、令和14年度頃までの整備とされており、優先順位が低くなっています。 					
◇地域ニーズ等の収集手段					
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地区懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他()					
◇区民からの具体的な要望					
<p>東戸塚駅利用者が年々急増を続け、特に平日朝および夕方の通通勤ラッシュ時には改札口周辺・プラットホームはもとよりエスカレーター・階段に人が溢れ、線路への転落・転倒などの人身事故がいつ起きるか分からない危険性があります。関係者と協議の上、いつときも早く解消策を実行してほしいとの要望があります。</p>					
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。					
<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県鉄道輸送力増強促進会議で要望を伝えました(H18～) ・東戸塚駅長に要望を伝えました(H24.6) ・都市整備局に要望を伝えました(H24.8 地域ニーズ反映システムで提案) ・東日本旅客鉄道株式会社横浜支社長に要望を伝えました(H26.3、H26.7) 					
◇提案内容・概算額等					
<p>安全対策や混雑緩和の早期実現に向けた要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラッシュ時における上り列車の更なる増発に向けた要望 ・ホームドアの早期設置に向けた要望 					
◇参考：区執行体制上の課題					
現行の体制で対応					
◇所管局					
所管局課		都市整備局都市交通課			

◆局回答内容

都市整備局		都市交通課	
担当者名	二見、伊藤	TEL	671-3541

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	提案いただいた安全対策や混雑緩和の要望については、引き続き、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議など、あらゆる機会をとらえてJR東日本に対し働きかけていきます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和4年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局	戸塚区		区政推進課	
		担当者名	奥住、宮原	TEL	866-8326
		共通区			
		継続年数	7年以上		
提案種別					
予算関連					
番号	項目				
8	県道瀬谷柏尾の都市計画決定の推進及び横浜新道上矢部IC下り出口の整備				
◇地域の課題、基礎データ等					
<p>県道瀬谷柏尾は、(仮称)上矢部岡津線として、都市計画道路の追加候補路線になっているものの、都市計画決定の見通しが立っておらず、交通量の増加による渋滞が慢性化していることに加え大型車両の通過が多く、また、十分な歩行者空間が確保されていない状況にあります。大型車両の通過が多く、渋滞が慢性化している状況は、不動坂交差点まで続いています。また、横浜新道の上矢部ICには下り出口がなく、直近の川上ICで降りた車両による住宅地内の通過等、周辺地域には様々な問題が生じています。</p>					
◇地域ニーズ等の収集手段					
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()					
◇区民からの具体的な要望					
<ul style="list-style-type: none"> ・かねてから地区懇談会等の機会において渋滞の解消や安全対策が求められています。 ・平成25年3月に小学生が巻き込まれた死亡事故発生の経緯があり、早急な安全対策が求められています。 					
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。					
<p>県道瀬谷柏尾については区画線の補修や減速表示などの安全対策を実施しています。上矢部IC下り出口については、地区懇談会において地域の意見を聞き、回答について調整を行いました。また、平成24年度に区内の中小企業訪問を実施した際、上矢部町周辺の事業所から上矢部ICについての意見を聴取しました。</p>					
◇提案内容・概算額等					
<ul style="list-style-type: none"> ・県道瀬谷柏尾の都市計画決定推進 ・県道瀬谷柏尾の追加候補路線を不動坂交差点まで延伸 ・上矢部IC下り出口の整備検討 					
◇参考：区執行体制上の課題					
現行の体制で対応					
◇所管局					
所管局課	道路局横浜環状道路調整課、企画課				

◆局回答内容

道路局		横浜環状道路調整課、企画課	
担当者名	落合、柴田(横環) 関野、原(企画)	TEL	617-2778 (横環) 671-2777 (企画)

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	<p>上矢部IC下り出口の整備については、周辺道路の整備状況や地域住民の要望・意見等を踏まえ、検討を進めていきます。(横浜環状道路調整課)</p> <p>【課題】 瀬谷柏尾線の横浜新道から区境までの区間は、平成20年5月に公表した「都市計画道路網の見直し」において追加候補路線としています。引き続き都市計画の方向性が整理できた段階で検討や調整を進めてまいります。(企画課)</p>
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題